

# 平成29年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

## 1 調査日時

平成29年4月18日(火)

## 2 調査対象

公立小学校等・特別支援学校小学部 第6学年  
公立中学校等・特別支援学校中学部 第3学年

## 3 調査学校数及び児童・生徒数

区分	学校数	児童数
小学校等	1,285校	87,311人
特別支援学校小学部	10校	45人
合計	1,295校	87,356人

区分	学校数	生徒数
中学校等	623校	73,689人
特別支援学校中学部	15校	62人
合計	638校	73,751人

## 4 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ◇主として「知識」に関する問題  
〔国語A、算数・数学A〕
- ◇主として「活用」に関する問題  
〔国語B、算数・数学B〕

### (2) 生活習慣や学習環境に関する調査

- ◇児童・生徒質問紙調査  
〔学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等〕
- ◇学校質問紙調査  
〔指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備等〕

## 5 各教科の平均正答率

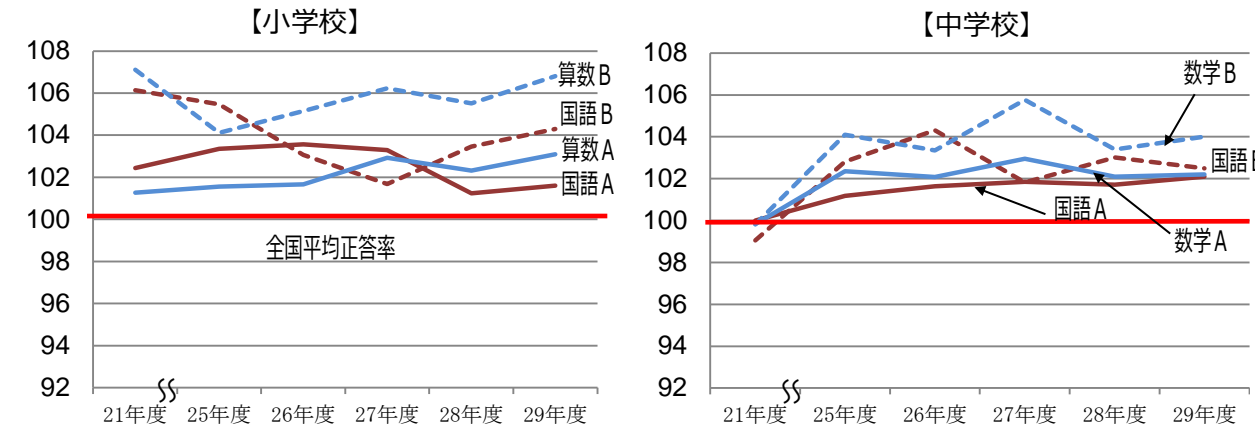
※細かい桁における微小な差異は、実質的な違いを示すものではないことから、正答率については小数点以下を四捨五入した結果を示す。(文部科学省方針)

小学校	東京都(全国)	中学校	東京都(全国)
国語A	76%(75%)	国語A	79%(77%)
国語B	60%(58%)	国語B	74%(72%)
算数A	81%(79%)	数学A	66%(65%)
算数B	49%(46%)	数学B	50%(48%)

## 6 教科に関する調査の結果概要

【標準化得点の推移】(全国の平均正答率を100としたときの東京都の得点の推移)

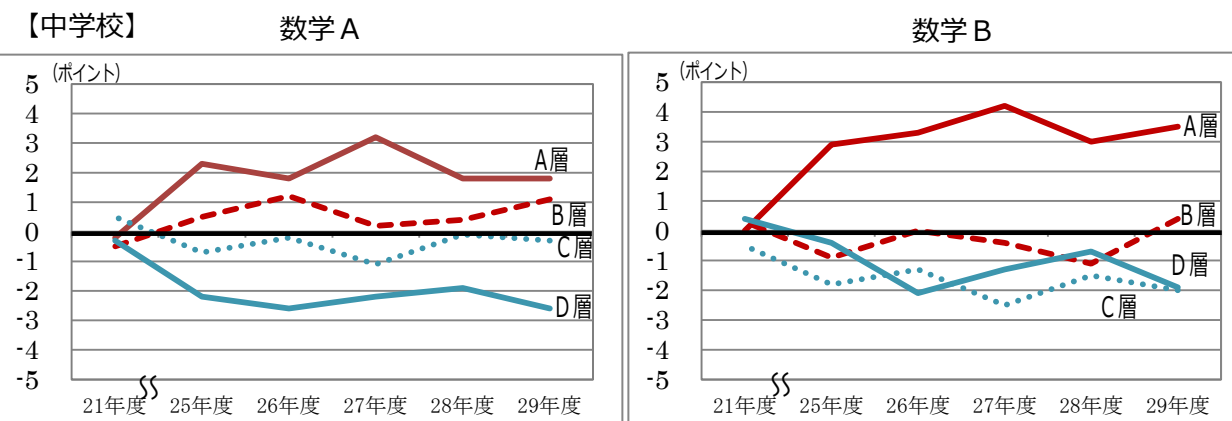
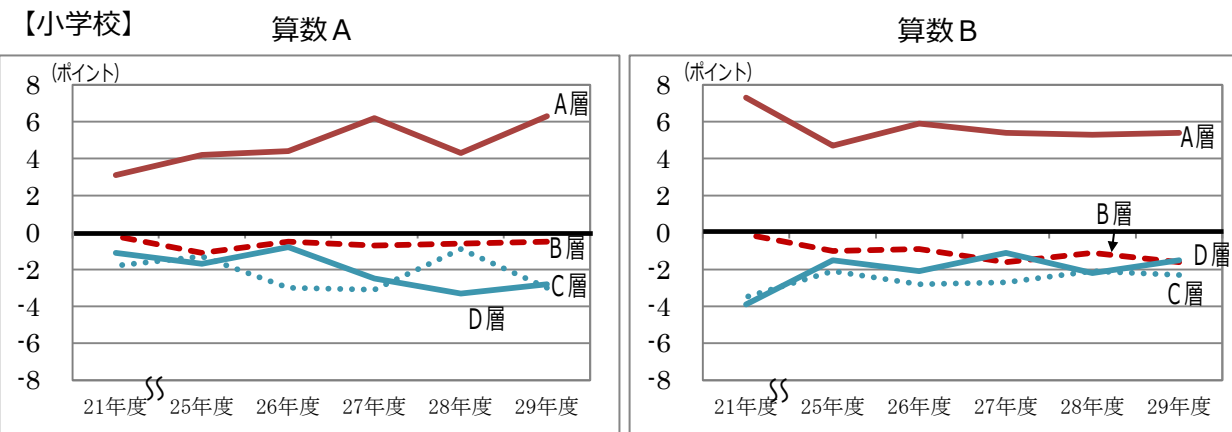
※標準化得点：各年度の全国平均正答率をそれぞれ100としたときの得点



○小学校は平成19年度の調査開始以降、中学校は平成25年度以降、全国平均正答率を上回っており、小・中学校ともに、その状況を概ね維持している。

【全国と比較した東京都における各層の割合の推移】

※正答数分布を上位層(A層)から下位層(D層)までを25%刻みで4層に分類し、全国を基準(0)として、東京都の各層の割合との差の推移を示した。



○A層は増加、D層は減少傾向にあるが、小学校において、B層は全国より少ない。

## 7 学力の定着が図られている問題及び課題が見られる問題の例

【定着が図られている問題例】

色紙が何まいかありました。3人で同じまい数ずつ分けたら、1人分は45まいでした。

(1) 色紙全部のまい数を□まいとして、1人分のまい数が45まいであることを□を使った式で表そうと思います。次の□に当てはまる式を□を使って書きましょう。

□ = 45

正答 □ ÷ 3  
正答率 65.4%

【平成28年度児童・生徒の学力向上を図るための調査】

はじめにシールを何枚か持っていて、5人で等しく分けたら、1人10枚ずつになりました。

このことを、はじめに持っていたシールの枚数を□枚として式に表します。下の1から4までの中から、正しい式を1つ選んで、その番号を書きましょう。

- × 5 = 10
- 10 × □ = 5
- ÷ 5 = 10
- 10 ÷ □ = 5

正答 3  
正答率 86.0%

【平成29年度全国学力・学習状況調査】

【課題の見られる問題例】

【別紙2】

【基礎的・基本的な知識・技能に課題が見られる問題】

〈国語〉 ・ 漢字  
〈算数・数学〉 ・ 商の表し方 ・ 関数のグラフ ・ 統計

【思考力・判断力・表現力に課題が見られる問題】

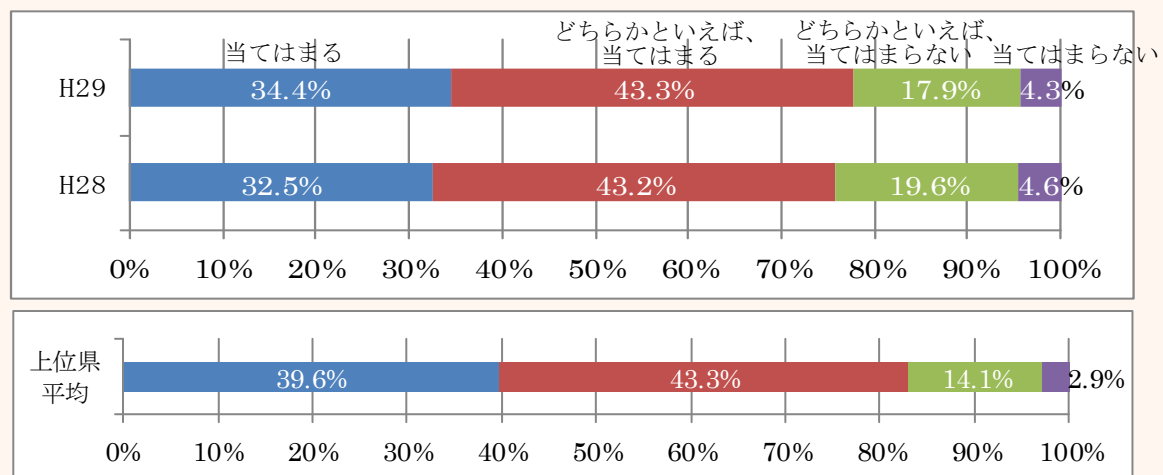
〈国語〉 ・ 目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く。  
〈算数・数学〉 ・ 必要な情報を選択し、数学的に表現する。

●課題に応じたきめ細かい指導を一層充実させる必要がある。

### 思考・判断・表現する力を育てる学習活動と平均正答率との関連

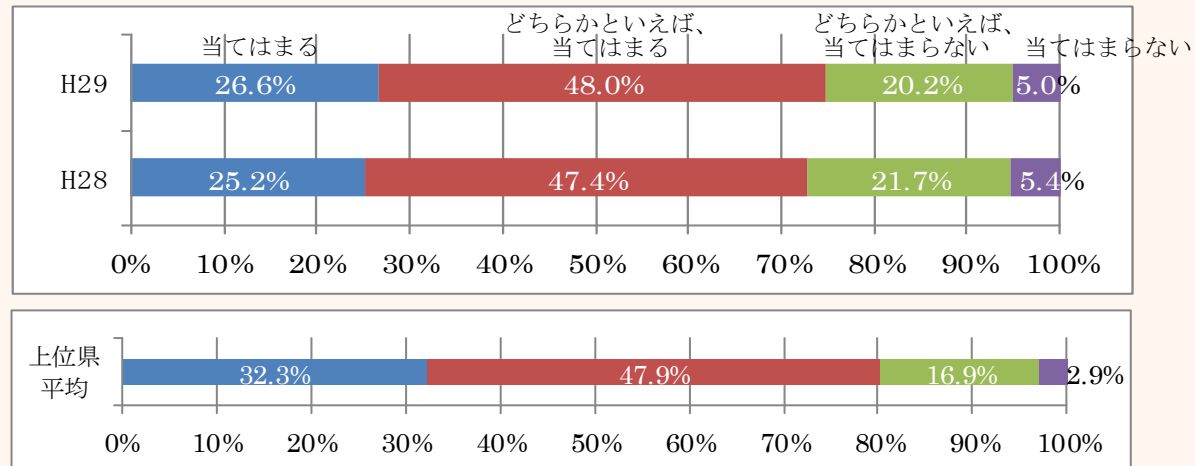
「話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか。」【児童・生徒質問紙】

(小学校)



	小学校		正答率 (%)			
	東京都	全国	国語A	国語B	算数A	算数B
当てはまる	34.4%	34.6%	80.5	65.3	85.2	54.8
どちらかといえば、当てはまる	43.3%	43.5%	76.7	60.7	81.4	49.4
どちらかといえば、当てはまらない	17.9%	17.8%	70.8	52.6	75.0	41.5
当てはまらない	4.3%	4.0%	63.2	42.5	65.6	32.4

(中学校)



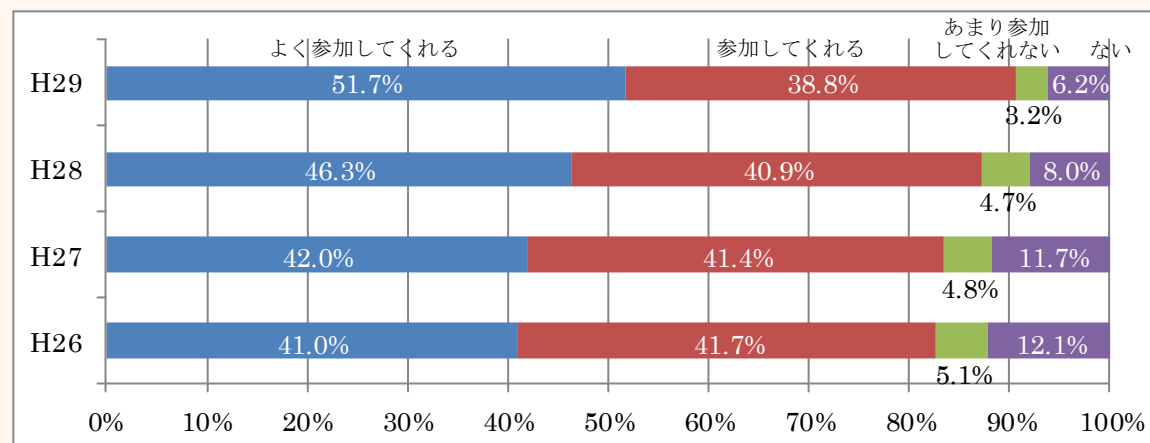
	中学校		正答率 (%)			
	東京都	全国	国語A	国語B	数学A	数学B
当てはまる	26.6%	26.2%	82.2	78.6	71.1	54.6
どちらかといえば、当てはまる	48.0%	47.3%	79.8	75.2	67.4	51.2
どちらかといえば、当てはまらない	20.2%	21.2%	74.5	67.7	60.4	44.7
当てはまらない	5.0%	5.1%	67.8	57.6	51.8	37.5

○ 目的や状況等に応じて互いの考えを伝え合い、理解し合う学習ができた児童・生徒の割合は増加しており、肯定的な回答をしている児童・生徒ほど正答率が高い。

### 保護者、地域の支援と平均正答率との関連

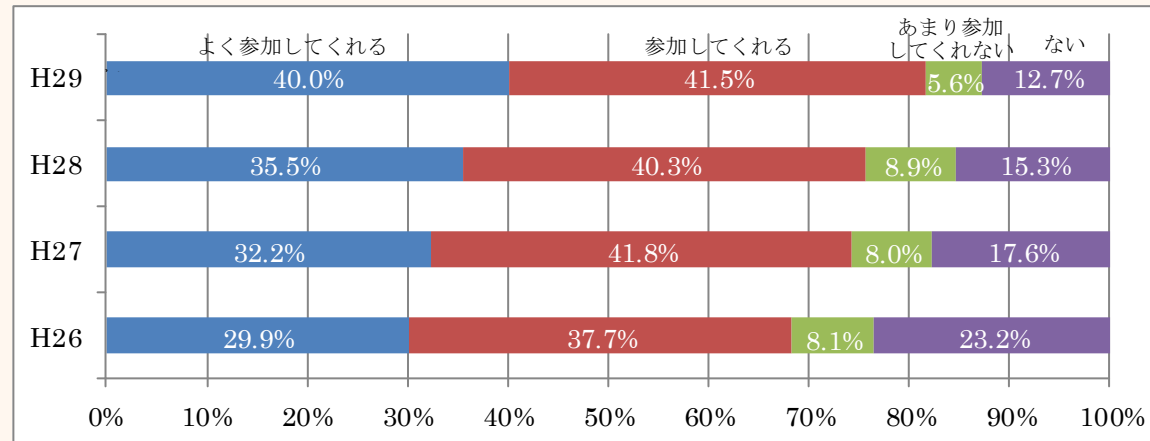
「学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の方が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか。」【学校質問紙】

(小学校)



	小学校		正答率 (%)			
	東京都	全国	国語A	国語B	算数A	算数B
よく参加してくれる	51.7%	51.0%	76.4	60.1	81.0	49.3
参加してくれる	38.8%	37.7%	74.9	58.4	79.4	47.4
あまり参加してくれない	3.2%	2.5%	73.8	56.4	78.2	45.6
仕組みがない	6.2%	8.8%	74.6	57.8	79.1	46.8

(中学校)



	中学校		正答率 (%)			
	東京都	全国	国語A	国語B	数学A	数学B
よく参加してくれる	40.0%	34.3%	78.6	73.6	66.0	50.0
参加してくれる	41.5%	43.1%	77.6	72.0	64.8	48.8
あまり参加してくれない	5.6%	5.1%	76.5	71.0	63.5	48.0
仕組みがない	12.7%	17.5%	78.1	73.1	65.1	50.4

○ 学校支援ボランティアの仕組みがある学校については、保護者や地域の方が学校の教育活動に参加している割合は増加しており、参加している割合が高い学校ほど正答率が高い。

- 【取組の方向性】
- 「東京ベーシック・ドリルソフト」等の活用を促進し、知識・技能を確実に定着
  - 「調査結果説明会」における報告や協議等により、思考力・判断力・表現力を育成する指導を充実
  - 「ガイドライン」に沿った習熟度別指導を推進し、児童・生徒の学習状況に応じた指導を充実
  - 保護者向け「リーフレット」等による情報発信を推進し、学校の教育活動を支援する機運を醸成